

豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度 第2回

会議概要	
日時	令和7年12月2日(火曜日) 午後6時00分～午後8時00分
場所	東部まちづくりセンター コミュニティスペース
出席者	委員14名（会長、副会長以下50音順） 高嶋会長、浅野委員、宇野委員、大田委員、北川委員、小林委員、今野委員、 清野委員、瀧本委員、千葉委員、仲川委員、長谷委員、宝住委員、森委員 (欠席 石川副会長) オブザーバー 菊池 地域まるごと支援員 事務局 地域活動推進課 佐々木次長 東部まちづくりセンター 原所長、高尾 その他 愛宕公民館 菊地館長 社会教育課 小島主幹
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 令和7年度 豊岡地域で実施される課題解決の取組 資料2 令和7年度 豊岡地域で実施される課題解決の取組 実施状況

議事の内容

1 開会

- 開会し、事務局より欠席者の報告、配付資料の確認があった。
- 社会教育課より「地域学校協働活動の取組」についての説明があった。
- 地域活動推進課より「旭川市地域自治推進ビジョンの見直し」についての説明があった。質疑

等は次のとおり。

【会長】

私が市民委員会に関係して10数年になるが、ますます町内会活動は停滞、市民委員会の活動についても担い手が不足している。地域の自治、活性化、自立といつても、なかなかそこまで行きつかない実情がある。アンケート調査も十分吟味して、町内会活動活性化に向けて、市でも積極的取組を具体的に示し、実効性あるものにしていただきたい。

【地域活動推進課】

町内会、市民委員会の担い手不足というのは本当に大きな課題となっている。市民アンケートでは、地域の活動に関わってもいいという人もいるので、こういった方の掘り起こしを町内会ができるようマニュアルや手引きを検討し、それを参考に各町内会で活動いただけないかともうことも考えている。具体的取り組みも含め、市の方でも考えていきたい。

2 協議事項

(1) 豊岡地域のまちづくりの検討と推進について

ア 令和7年度に豊岡地域で実施される課題解決の取組について

事務局から、前年度末に整理された「豊岡まちづくり推進プログラム」の説明、及び今年度豊岡地域で実施されている課題解決の取組について、資料1、2に基づき概要説明後、所属している各事業の実行委員から報告があった。

主な報告内容は次のとおり。

【委員】<豊岡まちづくりウォーキング事業>

- ・秋に開催した介護老人保健施設フェニックスは民間事業所で、施設職員に実行委員として参加していただいた。新しい切り口、方向性を見出すことができたと考えている。
- ・春光まち協でもウォーキング事業をしており、その流れの中で、春光歴史探訪図というものを作成し、配布したそうだ。
- ・光陽中学校の生徒が秋に授業終了後1時間程度で清掃活動を行っているそうだ。今まで実行委員会の方でプランを立てていたが、生徒と一緒にゴミ拾いというような活動も考えることができるのではないかだろうか。

【委員】<愛あい（子どもの居場所）づくり事業>

- ・愛あいは、毎回ボランティアの方が子どもたちに喜んでもらえそうなことを探して、自分たちも一緒に楽しむことができる内容にしている。半年に1回会議をし、アイディアを出し合って進めている。

- ・受入側のボランティアの担い手不足が課題。そこでグーグルフォームを使ってボランティア募集を行っている。
- ・参加しやすいよう、みんなで受け入れできるよう、一人一人の負担を減らすべく動いており、少しずつ、ボランティアの声掛けも成功しつつある。これからもこういう事業を長く続けていけたらいいと思っている。

【委員】<地域ふれかつマップ作成事業>

- ・地域ふれかつマップ作成事業は、愛宕地区と豊岡地区の2地区に分けて、地域の社会資源や、住民が集い活動しているサロン等の事業を発信するマップを作る事業。昨年度は愛宕地区的マップ作成を行い、今年度は豊岡地区的マップ作成にとりかかる予定。
- ・まずは既存の社会資源の情報はしっかりと載せ、新しい資源、情報があればそこに加え、みなさんが手に取っていただけるようなマップ作りをやっていきたい。

【委員】<豊岡消防団活性化事業>

- ・地域のチカラで地域を守るというのが消防団だが、消防団員が減少傾向なので、増加するのが不可欠という状況にある。
- ・今回、豊岡ふれあいまつり（アモールショッピングセンター）で、たくさんの人々に集まつていただき、周知ができたと思う。
- ・1月からは展示会もあるので、みなさんにいろいろ知らせていきたい。

【委員】<地域学校パートナー事業>

- ・それぞれの地域で見守り活動をされていて、毎日行っている地区もあると伺っている。まち協の取り組みとしては、それぞれの地区の実態を把握しながら、みんなで共有できればいいと考えている。
- ・学校とも協調してやる部分が必要だと考えているが、なかなか学校との情報交換が上手にできていないと感じているところ。学校の色々な動きが理解でき、それに絡めて取り組みができるべきだということも感じた。

イ 豊岡まちづくり推進プログラムについて

2グループに分かれてグループワークを実施した。

「1 自分の所属団体の取組、地域に知ってもらいたいこと」「2 豊岡地域の課題解決や取組につながること」「3 今後の取組に取り入れられること」「4 取り組む際の課題・問題点」について、意見を出し合った。

<グループワーク概要>

【Aグループ】

(1～4まで網羅した形での意見交換が行われた)

・豊岡地域包括支援センターでは、多世代の方が交流できる拠点づくりを今進めている。豊岡には「オレンジカフェあさがお」という認知症の方が社会参加する場所が1か所あるが、豊岡包括も「ふらっとカフェ」という認知症カフェを始めた。今後継続していけたらいい。

・旭川市内に過去に10くらいあった商店街振興組合が、現在は半分になってしまった。豊岡商店街振興組合も解散し現在は任意の団体。町内会と同じように商店街もなかなか大変。現在は「とよおか村」を使って、毎週火曜日にそばを提供し、月1回そば打ちの講習会も開いている。

・食生活改善協議会は、地域での講習会を年に4～5回、幼稚園・保育園で食育遊びを年に4～5回実施している。内容は、減塩やバランスの良い食事について。早寝・早起き・朝ごはんの話や、食べた物がどうなるかという話をしている。

・子ども達の見守りに取り組んでいる。月1回、その月の初めの登校日に実施している。さらに年3回、下校時にも取り組んでおり、今年度は6月、9月、2月にやる。2月にやるのは子どもたちの通学路の除雪状況を見るため。

・地域学校協働活動のコーディネーターとして、これからは若い人と仲良くなっていくというのが私自身の一つの目標。町内会がないと地域が荒れる。空き家、ごみ等。町内会を保つのは大変だけど、絶対無くしてはいけない。

・愛宕地区民児協としては、子育てサロンを実施している。この事業は継続していきたい。

民児協としての困りごとは、民生委員が3人の欠員を生じていること。いないと困るのはその地区の人たち。町内会にお願いして見つけていく作業を続けていく。

・学校ではPTA活動で役員のなり手が不足している。PTA活動も忙しいが、子育ての中心世代にこういう話を聞いていただければいいと思う。学校としても学校の様子をわかっていただけるように、学校だよりを配置、回覧している。

・豊岡地区市民委員会は、かつては40町内会が参加していたが現在は33に減った。役員のなり手がいなく町内会を解散せざるを得ないということ。ごみステーションや街灯の管理をどうしているのか。市民委員会の活動としては、交通安全、防犯、市の広報紙の配付。防犯では防犯部長が青パトの活動で月に1、2回巡回している。市民委員会の会長は非常に仕事が多い。様々な役職、会議への出席がある。

【Bグループ】

～1 自分の所属団体の取組、地域に知つてもらいたいこと～

・旭川市社会福祉協議会のまごと支援員。愛あいの活動を地域に知つてもらいたい。また、ハートネット実行委員会という、豊岡地域の住民にとって住みやすい地区を目指して、福祉情報を発信している。出前講座で、地域、学校等、各種団体に話をする機会を作りたい。

・町内会、市民委員会がなぜあるのか？を知つてもらいたい。50年近く住んでいるが、自分の地域で2回ほど水害があった。誰に助けを求めるのか？そのための町内会だと知らせたい。街灯だけではない。防災を考えなければならぬ。

・愛あいは楽しそうだが、東町エリアからは行きにくい。東町エリアにもあればよい。

・地域コーディネーター、民生委員をしているが、どちらの活動も、もっとたくさんの人に知つてほしい。認知不足である。

・地域のチカラで地域を守るのが消防団である。豊岡地区の団員が少ない。豊岡の現場に向かうので豊岡で人を増やしたい。そのために活動をしている。昔はあった定年も性別も外している。

・11月末で解散した町内会があるが、街灯の撤去までが町内会の仕事になる。町内会に法律の後ろ盾がない。市町村に条例を制定し、支援をしているところもあるが少ない。社協として今活動しているのは、旭川市防災課で提供する避難行動要支援者名簿を活用して支援すること。ハートネット実行委員会の中でも、モデル町内会を作つて、実際どうやって避難をしたらいいのか考えていく。

・愛宕公民館でサークル活動をしている。シニアが多く、入ったときは元気だったが、5年たつと体調面で休みがちになりやめていく。人数が少なくなると解散しなくてはならない。元気なシニアにサークルを知つてほしい。参加者を増やしたい。

～2 地域の課題解決や取組につながること～

・担い手がいない、参加者がいない、活動を知つてもらいたいという意向は一緒なのかと思った。活動をまず知つてもらえればいいのかと思う。

・地域のおまつりと合体させてやってみては。

・地域団体や町内会の活動がわからないというが、一番わかりやすい形がイベントを開くこと。地域・団体が何をしているのか、参加して知つてもらうことが大切。

・ふれあいコンサートを復活させてはどうか？

・豊岡地区で若い世代と壮年の交流の場が少ない。子供も大人も交流できるような子ども食堂を

もっと増やして、交流の場を増やしていったらいい。

- ・いろんな組織があって、組織同士で何をやっているかわからない。組織が一緒にコラボすることを考えれば解決につながるものが出でてくるのでは？他の組織が抱える課題と自分の組織が抱える課題が似通っている。

～3 今後の取組に取り入れられること～

- ・町内会のアンケート、デジタル化はハードルが高いので、モデル地区を作つてはどうか。
- ・デジタル化も進めるけど、今までの既存のやり方も無くさず、必要とする方もいるし、どちらも一緒に進めていく形がいい、誰も取り残されることもなくできると思った。コツコツ少ない人數でも進める、続けることが大切で、何かしていると誰かが思ってくれれば知るきっかけになる。
- ・集まれる場を探す。イベント的なもので人が集まつくる場所で広報活動ができればいい。

～4 取り組む際の課題・問題点～

- ・町内会に入つたらこんないいこと、楽しいことがあるというのがないと町内会に入れるのは大変。近所づきあいも薄くなつてゐる。

【会長】

それぞれの団体の活動状況や問題点等、意見交換ができたのではないかと思う。ただ、結論に至るということは、こういう幅広い議題の中では難しい。

3 その他

【事務局】

- ・地域まちづくり推進プログラムの改訂作業の流れについて
- ・実行委員会の日程調整について
- ・次回（第3回）協議会日程について

4 閉会